

あまでうす

各務原市が、月に2回発行している広報紙「広報かかみ」が「ら」の最後のページに、『市民ギャラリー』というコーナーがあり、そこに、閃きで作ったオリジナル時計（毎夜、トーストにトッピングして食べている納豆のフタに、友禅千代紙を貼り付けて作製）を、市の広報課担当者から取材を受けて掲載をして頂いてから、この時計に関して、ぎふチャン・ラジオの生放送に出たり、毎月、購読している雑誌『スタンプマガジン』に載ったり、『思わぬ人たちから』「広報見たよ」とか「載ってたね」と、

声を掛けて頂き、その反響の大きさに驚いた。これが一段落したところへ、今度は、地元の岐阜信用金庫の担当者が、信金主催のサラマンカホールでの、オール・モーツアルト・プログラム（コンサートチケット）が当たったということ、自宅で届けに来られた。その際に、広報に載っていたのを見たといわれ、店のロビーで今までの時計の展示をお願い出来なかつた、有難い言葉を掛けて頂いた。

「願ってもないことです」と即答し、このときは、日を改めて詳しく話を訊きたという事で、いつたんは帰られた。一ヶ月後、自宅での打ち合わせのときに、「オリジナルの時計はいくつあるんですか？」と訊かれ、「腕時計が四個、置き時計が一個、懐中時計が一個、掛時計が六個です」と話し、その中から数個を見せた。そして、時計を作った経緯などを話している流れで、「写真も趣味で撮っているんです」と、撮った写真を、これもまた数点見せると、「ロビーにスペースがあるのでは、一緒に展示しましょう」といわれた。美濃和紙にプリントした写真（A4サイズ）も、十点同時に展示する運びとなつた。また、搬入はす

べて信用金庫の人が、車で運んでくれるというのです。『写真とオリジナル時計 作品展』は、約一カ月間展示。初日に、どんなレイアウトで展示されているのかが気になりました。行って見てきました。その様子を、カメラで十枚ほど撮り、友達にプリントして渡したり、SNSにアップしたりした。その甲斐あって岐阜市、関市、一宮市にいる友達も、信金にも見に来てもかかわらず、みんなに感想を訊くと、

「和紙にプリントした写真は初めて見た。絵のような趣があつて良い」とか「オリジナル時計は、発想が面白い」と、まあまあ評判は良かったようです。今回こうして、地元で初めて開催した展示会を、無事終えることができました。ところが、これではなかつたのです。『鶴沼宿中山道春まつり』のときに、知り合いのボランティアに、展示会の話をしたところ、「春まつりの取材で、中日新聞の編集部の人に来てから紹介するわ」といわれ、思わぬ形で、外での取材となつた。その場で写真を撮り、『中日各務原市民ニュース』紙上に、春まつりの記事と一緒に掲載して頂きました。

風地蔵新聞

第152号

編集 白石 美帆
発行 風地蔵
〒503-0922
岐阜県大垣市
馬場町85
感想・エッセイ・おちま
歌・俳句・お祈り
歌・お祈り
歌・お祈り
歌・お祈り
歌・お祈り

やつと、実現した
大切な時間

大橋 美紀

私には、学生の頃から30年以上の付き合いになる友人が居ます。親友です。この子とは何でも話せる、本当に心強い友達なんです。今、糖尿病からもう、左目は失明し、右目はぼんやりと見えるくらいで障害者となり介護認定では要支援5となっております。結婚はしていませんが子宝には恵まれず今はご主人と2人暮らしです。なんとか身の回りのことは出来

るのですが、お掃除でもホコリがあるかも見えずなんとなくの感覚です。昔から料理は苦手だったんですが、「たくさん小松菜も買ったんだけどどうしたらいい？」と電話で聞いてきます。アドバイスしてあげると頑張つてナムルを作つたり、お肉は焼いているのが見えないうちにご主人にみてもらいながら作っている毎日です。3、4年ぐらいい前、目が見えなくなる前にいろんな所に行きたいし、見えるうちにいろんな景色が見たいと言っていたのです

が、私も子供の頃とか義母の闘病、母親の物忘れから痴呆と、お互いに出掛けることが出来ずに年月が経つてしまいました。友達の義母も亡くなり、いつも計画を立てるとダメになつていましたので、仕事がお休みの前日に友達に明日どこかに行こうと電話で連絡を入れ、やつと先日、実現できました。あまり遠くには行けませんので、友達の家に寄り、1時間車を走らせると昭和村があります。私はネット上で調べました。昭和村は出来て10年近くなるでしょうか、

2人とも行ったことがなく、とにかくのんびりをテーマに、朝8時半に家を出て、11時には昭和村に到着。たった1センチの段差でも、気を付けないとつまづき転んでしまうので、車を降りると杖をつき、私に捕まり、ゆっくりゆっくり入園口まで歩きます。障害者手帳を見せると、もちろん本人は無料、そして付き添いの私も入園料が無料では居ることが出来ました。車いすを貸していただき、園内をゆっくり回りました。本当に緑がきれいで、自然があふれていて、ドンダリの森、棚田、茶畑、昭和30年代の学校、やまびこ学校にかいこの家、芝居小屋もありました。

平日で空いてないところもあり、少々残念でしたが、おしゃべりしながら、私を手伝いながらおせんべ焼きの体験もできました。お昼は園内の農家レストランやまびこに入ります。岐阜産のお野菜中心の「美菜バイキング」をお腹いっぱい食べ、本日に久々2人で、写真もいっぱい撮つたり、撮つて頂いたり、こんな近場でも思い出をたくさん作ることが出来ました。坂道が多く、車いすを押すのも大変でしたし、食後はもつと車いすが重くなり2人で大笑い。たっぷり5時間、昭和村を楽しみ、2人の時間を楽しみました。また行けるといいなと思つています。

川風

しらいし みほ

きのうのこと。

川町に着きました。おんといふるさと小

風地蔵新聞
高速道路も片側通行とかが、なんとか通れるようになってます。益城インターの上でストンプしてます。

ガソリンを入れ忘れてたんで、もう降りるしかありません。地震の最中、デマの火事騒動があった。イオンがみえる。満タン。

そのまま下道で城南通って、松橋へ。当たり前で、通る。家がはいくつも目に飛び込みます。

これまでは植木、合志、熊本市内から益城へ、物資を運んでましたから、こうして地元の方へ下るのは初めて。被害の範囲の広さを実感します。

松橋インターそばの宇城つこの道で、風地蔵の季節のジュースを買わねばなりませぬから最初の立ち寄りです。

風地蔵新聞
そうそう、辛子レンコン買って帰らなくっちゃ。
ふるさとの味なんです。この惣菜コーナー。

城南に住んでたダンナちゃんも、びったり合う味。

第152号 No. 2
「今まで食べた中で、この辛子レンコンがいちばんうまい」と言います。

い、お昼、芦北で食べるための、お弁当も買い、お弁当も買い、ひやくこの季節ならでわの、ばあちゃん、が毎年作ってくれて、みようが万十も買いた、みようが万十も買いた、夜のおかずも買い、

小川駅のすぐそばのようです。小川工業高校なんて、中学生ぶりに見たかも。少し道に迷いながら、道の場所に聞いたら、しき建物がありました。

身重のりおんに、カイ方の荷物を持たせ入ります。2人の役場の職員さんがいて、受けとつてくれました。

一つ、開けてみてもいいかと聞いて、絵手紙の広げた扇子をみんので、のぞきこみました。

わあ、これ、これは、でもらった方は、元気がでますね！

話も、亀ん町や、新町が、一番ヒドかったとか、いまでも日に2回は震度3がきます！とか、ふっと目線を伸ばすとダンボールの仕切りがありました。

いま、なお2箇所の避難所があります。小さい方であろう、南新田の避難所、河江コミュニティセンターへ、大垣 風地蔵より支援助物資の最後の便を届けます！

個人的に大垣の80才近い絵手紙の先生が『涼しい風を送りたい』と20もの扇子に手描きで絵と言葉を、かいてるようです。

おきまりの行政問答も一切無く、暖かく手渡しが出来ました。地元なんです、知らない人だけど、互いに緊張感がなくなり、スムーズに笑顔が飛び出します。

想像通りのやりとりが疲弊なら、地震に無理矢理なら、されたで、心地よくもありました。

がんばれ！小川！がんばれ！ふるさと！

海を見ながら、さっさく買った、小川の味の弁当、煮染めとか、食べようと

海沿いの、駐車場に車を止めると、フロントガラスは雨。ま、いつか。です。煮染めとおにぎりで、も良かったな、と思え、うまい！！

「今回の一番よかつたです」と、受付の方と話ながら、今日、展示は母子の愛情にあふれていて、感動しました。

絵手紙を2つと、生まれた赤ちゃんの記録を書く、手帳を買ってました。

かえりの車の中は、おんのごとの話から、中学で行った、長崎、広島取材の話へ。

2007年 8月6日
いまから 約9年まえ、おん、ドキドキの広島取材で80才の方がアメリカの大統領にきて欲しい！と、おんのインタビューに答えて、いらっしゃいます。

当時のブログより、8月6日 10時、00分、平和公園にて、大垣北中1年、田中 李恩

「母親はまあ、だ行方がわかりません。その日は結核で死んだから、出しにでたから、あとで足を調べる。あ、横川駅で、電車にのるか、のらないか、くらいです。母親を毎日探しました。いまもまだ見つかりません。

「この人の言葉、若い人にも人気出ると思うよ」と、部屋に、ズットこの人のカレンダー、あつたのに、笑

一生懸命話してくれました。

あれから、9年が経とうと、おんが9月には、お母さんが、オバマさんありがとう、世界が平和になりますように。

まちゼミ③
原 由里子

3月の休み、今回のまちゼミの場所は大垣西濃信用金庫 郭町支店です。今年の1月に、大垣信用金庫と西濃信用金庫が合併して、この名前の銀行になりました。セミナーは「事前に知っておきたい、相続の基礎知識」です。まちゼミ以外にも色々、講座やセミナーを見かけますが、この話の構成が多いです。時間は1時間です。まちゼミ当日。場所は分かるからと、広報の切り抜きを持たずに出掛けたら分からなくなり迷子になりました。場所を人から聞き、遅れながらも大信にたどり着きました。銀行の前で遅れてきた私を男性銀行員の方が待っていてくれました。「迷子になりました」と言いながら謝り、2階の会場に向かいました。始まってそんなに経っていないが、話の内容はすぐに分かりました。参加者はすべて年配の方で本当に相続に悩んでいる方ばかりのようです。私は無知な知識の勉強のため参加しています。相続にも、時代背景があるようで、昭和22年5月2日までは長男が単独相続する「家督相続」だったそうです。しかし、現在では民法第906条で定められていて、原則としてあくまで相続人全員で話し合っ決めてください。法定相続分とは、もめたときの基準となるものだそうです。東海3県の結婚式が派手な背景には、子供に派手な結婚式を行い、遺産分けをさせたつもりでいるのが親の考えだそうなんです。今は、結婚をしていない方や、子供のいない世帯が増えて、少子化により一人あたりの財産額も多くなりそうです。そして、故人の兄弟姉妹が相続人となったりすることもあり、相続手続きが複雑化しているようです。実際にあった話です。平成27年に父が亡くなり、長男は死亡しているため、長男の子が代襲相続

人となるそうです。長男の子は未成年のため、平成17年に離婚した元妻が親権者として遺産分割に参加するという、思わぬ人が相続人になることもあるそうです。相続争いが起きる原因として①お金の問題②愛情の問題③本家の問題だそうなんです。お金の問題としては、不安な時代、年金や雇用の問題です。愛情の問題としては、親の愛情の奪い合いだそうで、相手に自分より多く財産が行くのが気に入らないという事です。本家の問題として、本家として親の扶養義務もあるし、お墓はどうするという思い。分家として均分に相続する権利があるという思い。簡単に言うと、相続は難しく複雑です！しかし今はそれよりも、平成27年1月1日以降から改正された「基礎控除額の引き上げ」によって、頭をかかえている方が多いようです。前に、基礎控除額の引き下げに関する講座に参加しました。その時は、何気なく参加していたので、あまり頭に入らなかった。2回目は理解が出来ました。今回の参加者のほとんどが、基礎控除額の引き上げに引っかけかかっているようです。「お金はないのに土地がいっぱいあるのどうして？」など、質問が飛び交っていました。前は、7千万円までは相続税が発生しなかったのが、今は4200万以上の財産があれば、相続税が発生してしまいます。例えると、5千万円の相続がある場合、前は0円でしたが、今は10万円の相続税を払わないといけないそうです。ちなみに1億円の相続税は、100万円だったのが、215万円になったのです。都心部に1軒家やマンションを1つ持っている、他に土地を持っている、でも相続税が発生してしまおうと言っていました。相続の基礎知識の中で、私が関わってきたとき、親が亡くなったとき、親の通帳が更迭して一時、使えなくなるという

葬式などで、お金が必要なきに使用できない。それでも聞くことがあり、話も聞いたことがあり、いとけないです。1時間のまちゼミは、あつという間に終わりました。帰りに、だいしんのBOXティッシュのお土産を頂きました。そういえば前に、姉が母に聞いていました。「4200万円以上の財産ないやろうね！私や由里に負担かからんようにしてよね！」母が「大丈夫！心配ない」と言っていました。なので、通帳の問題だけのように、迷子になって遅れたのは、家にいるまでは大垣西濃信用金庫が会場と分かっていたので、出掛けてしまわなくて、「どこだったん？」と分からなくなりました。銀行というのは分かっていたので、とりあえず、間違ってもいいと思いついて、十六銀行に行っただけです。

やっぱり違っていたので、十六銀行の方の対応が素晴らしかったんです。「まちゼミで来たんですが」というと、少し待って、通されたのが、個別相談するような席です。参加者は私一人なのかな、と思っていたら、「まちゼミは昨日で終わったんですが、教えますよ。」と笑顔で対応してくれたんです。十六銀行も、その月に2回「お金の寿命と資産運用」というまちゼミをやったようです。本来なら、もう終わってからの冷たくあしらわれても不思議じゃないです。それを迷惑な顔一つせず、本気で教えようとしている姿勢に感動です。その銀行員の方の後ろには、支店長らしき男性が笑顔で立っています。ようやく内容も場所も違っているのが分かり、謝ったあとに、場所をスマホで調べて頂きました。私は、まちゼミとは別の場所、素晴らしい学びが出来ました。

出来ました。間違えて迷惑をかけてしまうことは、良くないことでしたが、間違っていないながらも悪くないかと思いついて、帰り際に「次の日。仕事から帰ると母が、「これって昨日行った所やよね。」と言いつつ渡してきました。宛名が手書きで書かれた、大垣西濃信用金庫 郭町支店からでした。裏を見ると、参加へのお礼と、質問があれば気軽に連絡下さいという内容でした。母も、だいしんからのハガキを見て、「早っ！」と驚いていました。十六銀行もだいしんも地元に着した銀行だからこその、対応なんだと思います。本当に見習うべき姿だと思いました。次が最後のまちゼミです。また、学び以外の何かを発見できることを楽しみに、参加したいと思っております。おわり

神主庭師

植木の伐採などで神主さんによる「お祓い」に立ち会うことがよくある。ちょっと変わった人に当たる確率が高い。

神社当番の方がお酒(お神酒)を買ってきたのはいいが、焼酎！普通は日本酒。お酒を飲まない方で名前が縁起よかったから選んだそう。可笑しくってみんなで笑っていた所に神主さん登場。

時間があるので買い直しに行こうとしたら、「神さんもたまには違う酒を飲みたいだろう」とそのまま。お酒をまくとき匂いがキツくて、笑いを堪えるのが大変だった。

途中まで伐採する木一本一本に呪文？を言っていたが、草むらにきた途端、「ワシは蛇が怖いので、これから先はまとめてやる」かなりいい加減。。。

何か試験があるのか分からないが、一石二鳥なので自分も神主さんの資格を取りたいと思うこの頃。

庭師 奥田良樹